第1回 上山市振興審議会

期 日 令和5年6月1日(木)
午後3時00分
場 所 上山市役所大会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 辞 令 交 付
- 3 市 長 挨 拶
- 4 委員自己紹介
- 5 仮 議 長 選 出
- 6 会 長 互 選
- 7 会 長 挨 拶
- 8 会長職務代理者の指名
- 9 諮 問
- 10 協 議
 - (1) 第8次上山市振興計画策定方針及び今後の日程について
 - (2) そ の 他
- 11 講 演
講師 東北学院大学 地域総合学部 地域コミュニティ学科
教授 柳井 雅也 氏
- 12 閉 会

目次

◎	第8次上山市振興審議会委員名簿	p 2 ~
◎	第8次上山市振興計画策定方針（案）	p 3 ~ p 6
◎	上山市振興計画策定条例	p 7 ~ p 8
◎	上山市振興審議会条例	p 9 ~ p 10
◎	上山市振興審議会条例施行規則	p 11 ~ p 12
◎	第8次上山市振興計画策定委員会 設置要綱及び同委員会名簿	p 13 ~ p 15

別冊資料一覧

- ・ 第7次上山市振興計画（基本構想・前期基本計画）
- ・ 第7次上山市振興計画（後期基本計画）
- ・ 第2期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・ 上山市過疎地域持続的発展計画
- ・ 第5次上山市国土利用計画
- ・ 第2期上山市都市マスタープラン 全体版・概要版
- ・ 山形連携中枢都市圏ビジョン
- ・ 令和4年数字で見るかみのやま

第 8 次上山市振興審議会委員名簿

区 分	委員の種別	職 名	氏 名
1号委員	市議会の議員	上山市議会議員	尾形 みち子
			川崎 朋 巳
2号委員	市教育委員会の委員	上山市教育委員会教育委員	木村 佳代子
3号委員	市農業委員会の委員	上山市農業委員会会長	花谷 和 男
4号委員	市内の公共的団体等の役員及び職員 (五十音順)	一般社団法人上山市医師会理事	安藤 常 浩
		一般社団法人上山市観光物産協会代表理事	五十嵐伸一郎
		上山市介護保険事業運営協議会委員	猪狩 良 佳
		上山市PTA連合協議会母親委員会代表	榎本 令 子
		上山市スポーツ協会会長	小川 久 義
		上山市商工会会長	菅野 高 志
		公益社団法人上山青年会議所理事長	小松 亮 太
		上山市温泉クアオルト協議会委員	堺 美 奈 子
		国際ソロプチミストかみのやま会長	永 田 孝 子
		上山市地区会長会会長	堀 川 博 美
		上山市保育園保護者会連絡協議会会長	山 川 和 寿
上山市文化団体協議会会長	山 川 庸 久		
5号委員	学識経験を有する者 (五十音順)	山形県議会議員	遠藤 寛 明
		山形大学人文社会科学部教授	下 平 裕 之
		東和薬品株式会社山形工場 品質保証部品質保証第二課長	鈴木 明 美
		東北学院大学地域総合学部教授	柳 井 雅 也

(2 0 名)

第 8 次上山市振興計画策定方針（案）

第 1 趣 旨

本市は、平成 28 年度に第 7 次上山市振興計画を策定し、めざす将来都市像を「また来たくなるまち ずっと居たいまち ～クアオルト かみのやま～」と掲げ、その目標達成に向けて諸施策を総合的に推進してきた。

この間、各分野にわたる取組の中で、東北中央自動車道の高速交通網やアクセス道路網の整備などの基盤整備に加え、駅前「かみのやま温泉観光案内所」の建設、カミン再生整備事業や新たな工業団地の整備分譲など、本市発展の礎となる新たな事業にも取り組んできた。

一方、計画期間中には新型コロナウイルス感染症が拡大し、これまでの日常生活は大きく変化した。本市においても、市民の命を第一優先に感染防止の徹底と地域経済の回復に向けた様々な支援を実施してきた。

現在、コロナ禍での生活も 3 年が過ぎ、行動制限が緩和されたことにより、各地で様々な催しが行われ、市内にも少しずつ活気と笑顔が戻りつつある。

また、本市の喫緊の課題である少子高齢化・人口減少は、依然として歯止めがかかっておらず、令和 4 年 4 月には、本市が過疎地域の指定を受けた。今後も、少子高齢化・人口減少により、地域の活力の低下や厳しい財政状況が続くことが懸念される。

さらに、本市を取り巻く社会環境では、SDGs の理念に基づく様々な取組やデジタル化、グリーン化など変革の潮流が加速している。

このように、少子高齢化や人口減少、目まぐるしく変化する社会経済情勢など、これまでに経験したことのない社会の転換期を迎えるなか、市民の心豊かな暮らしとまちの持続的発展を実現していくため、第 7 次上山市振興計画で実施した施策全般を改めて振り返るとともに、市民の声や時代の変化を的確に捉えながら、これまでの前例や固定観念にとらわれることなく、より実効性の高い計画を策定する。

第2 計画の構成等

第8次上山市振興計画は、令和6年度を初年度とする基本構想、基本計画で構成し、その体系は、次のとおりとする。

1 基本構想

基本構想は、今後の本市の基本的な姿勢（理念）とあるべき姿（将来像）を定め、その実現のための基本的施策（施策の大綱）を策定するものとする。

2 基本計画

基本計画は、前期と後期とし、基本構想に掲げる将来都市像と施策の大綱に基づき、重点的に実施する施策を明示するとともに、分野別の施策の体系を明らかにするものとする。なお、今回は、前期基本計画を策定するものとする。

第3 計画策定に対する取組

1 市民参加の推進

第8次上山市振興計画を市民共通のまちづくりの目標と位置付け、計画策定の段階からさまざまな機会を設けて市民参加を促し、提案されるまちづくりについてのアイデアや提言を積極的に吸収し、反映していくものとする。

- ◇ 地区別意見交換会（市長と語る車座ミーティング）（全地区 市民411人）
- ◇ 市民意識（アンケート）調査（対象16歳以上の市民2,000人）
- ◇ 市民ワークショップ（公募による市民約40人）
- ◇ 団体等ヒアリング（各分野における団体との意見交換）
- ◇ パブリックコメントの募集（基本構想素案への提言募集と公表）

2 庁内組織（策定委員会の設置）

全庁体制の「第8次上山市振興計画策定委員会」を設置するとともに、危機意識と改革意欲を全職員が共有し計画策定及び総合調整を行う。

また、策定委員会には、幹事会を設置し、計画の原案作成、専門的調査・検討及び諸調整等を行う。必要に応じて幹事会にワーキンググループを設置するほか、計画の素案策定の検討を行う。

- ◇ 第7次上山市振興計画の評価と検証
- ◇ 基礎資料収集（人口動向、土地利用動向、必要施策等ヒアリングほか）
- ◇ 職員意識調査

第4 策定のためのスケジュール

計画策定期間は、令和5年度中とする。全体のスケジュール（案）は別紙1のとおり

第5 計画の主要目標

1 基本構想

- (1) 将来の都市像の設定
上山市の自然風土、産業経済の特性を踏まえた都市づくりの基本的な理念を定め、これに基づいて将来の都市像を描き表現する。
- (2) 将来指標（目標値）
基本目標となる目標値を設定する。
- (3) 土地利用構想等の設定
国土利用計画（市町村計画）、都市マスタープラン、農業振興地域整備計画、山形連携中枢都市圏ビジョンその他の各種計画との整合性に配慮しながら、地域特性を活かした総合的な土地利用構想等を設定する。
- (4) 施策の大綱の設定
本市の今後の都市づくりにおける課題に的確に対応しながら、将来の都市像を実現するための施策の大綱を設定する。
<主な内容>
 - ・ 目標年次までの目標
 - ・ 目標年次までの目標値

2 基本計画

基本構想を具体化するため、基本的な施策を示すものとし、分野ごとに講ずべき主要な施策について、その基本的な考え方及び施策内容を示すものとする。また、行政評価と連動させ、進捗管理や成果管理を行う。

- <主な内容>
- ・ 目標年次までの目標
 - ・ 目標年次までの目標値
 - ・ 目標年次までの主たる事業
 - ・ 施策実現のための行政運営、財政運営の基本方針、財政目標

第 4 策定のためのスケジュール

- 令和 4 年 7 月～11 月 ○ 地区別意見交換会（市長と語る車座ミーティング）
- 令和 5 年 1 月～ 7 月 ○ フレームづくり（各種統計資料作成）
○ 市民意識（アンケート）調査
○ **第 1 回振興審議会開催＜6 月＞**
（委員任命、諮問、策定方針等）
○ 基本構想素案の作成
○ 市民ワークショップの開催
○ 団体等ヒアリング
- 令和 5 年 8 月～10 月 ○ **第 2 回振興審議会開催＜8 月＞**
（基本構想骨子案審議等）
○ 基本構想素案の作成
○ **第 3 回振興審議会開催＜9 月＞**
（基本構想素案審議等）
○ **第 4 回振興審議会開催＜10 月＞**
（基本計画骨子審議等）
○ 基本構想案のまとめ
- 令和 5 年 11 月～12 月 ○ 基本計画素案の作成
○ **第 5 回振興審議会開催＜11 月＞**
（基本計画案審議等）
○ **第 6 回振興審議会開催＜12 月＞**
（基本計画案審議等）
- 令和 6 年 1 月～ 3 月 ○ パブリックコメント募集、公表
○ **第 7 回振興審議会開催＜2 月＞**
（基本構想案の決定、答申）
○ 基本構想案を市議会へ提案、議決
○ 基本計画案のまとめ、決定、答申

上山市振興計画策定条例(平成24年3月22日条例第2号)

(目的)

第1条 この条例は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、本市の振興計画の策定について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 振興計画 将来における本市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、基本構想、基本計画及び実施計画からなるものをいう。
- (2) 基本構想 市政の最高理念であり、めざす将来像及び将来の目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 市政の基本的な計画であり、基本構想において設定した将来の目標や基本的な施策を実現するために必要な施策の基本的方向及び体系を示すものをいう。
- (4) 実施計画 市政の具体的な計画であり、基本計画の施策を実現するために実施する事業を示すものをいう。

(振興審議会への諮問)

第3条 市長は、基本構想を策定し、又は変更するに当たっては、あらかじめ、上山市振興審議会条例(昭和40年条例第20号)で規定する上山市振興審議会に諮問するものとする。

(議会の議決)

第4条 市長は、前条に規定する手続を経て、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、議会の議決を経るものとする。

(基本計画及び実施計画の策定)

第5条 市長は、基本構想に基づき、基本計画及び実施計画を策定するものとする。

(振興計画の公表)

第6条 市長は、振興計画の策定又は変更後、速やかにこれを公表するものとする。

(振興計画との整合)

第7条 個別行政分野における施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更するに当たっては、振興計画との整合を図るものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

上山市振興審議会条例（平成 8 年 7 月 1 日条例第 20 号）

改正

昭和45年 3 月 27 日 条例第 1 号

平成13年 3 月 23 日 条例第 3 号

平成15年 3 月 26 日 条例第 2 号

平成20年 3 月 14 日 条例第 3 号

平成26年 3 月 17 日 条例第 1 号

（目的）

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の 4 第 3 項の規定に基づき、上山市振興審議会の設置、組織及び運営に関する事項を定めることを目的とする。

（設置）

第 2 条 市長の諮問に応じ、市振興計画の策定、変更、その他実施に関し、必要な調査及び審議を行なわせるため、上山市振興審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織）

第 3 条 審議会は、委員25人以内をもって組織し、次の各号に掲げる者のうちから市長が任命する。

- （1） 市議会の議員
- （2） 市教育委員会の委員
- （3） 市農業委員会の委員
- （4） 市内の公共的団体等の役員及び職員
- （5） 学識経験を有する者

（会長）

第 4 条 審議会に会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

（委員）

第 5 条 委員の任期は、1 年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第 6 条 審議会は、会長が招集する。

2 会長は、審議会の議長となる。

3 会議は、半数以上の委員が出席しなければ開くことができない。

4 審議会の議事は、出席委員⁹で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、市政戦略課において処理する。

(雑則)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会に関する必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

1 この条例は、昭和40年7月1日から施行する。

2 上山市建設審議会設置条例（昭和32年上山市条例第46号）は、廃止する。

附 則（昭和45年3月27日条例第1号抄）

(施行期日)

1 この条例は、昭和45年4月1日から施行する。

附 則（平成13年3月23日条例第3号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成15年3月26日条例第2号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月14日条例第3号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月17日条例第1号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

上山市振興審議会条例施行規則（昭和59年9月29日規則第24号）
（趣旨）

第1条 この規則は、上山市振興審議会条例（昭和40年条例第20号）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（欠席の届出）

第2条 審議会委員（以下「委員」という。）は、会議に出席できないときは、あらかじめ会長に届け出なければならない。

（部会の設置）

第3条 審議会は、その定めるところにより部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

（部会長）

第4条 部会に部会長を置き、部会に属する委員のうちから互選する。

2 部会長は、部会の事務を掌理する。

3 部会長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ部会長が指名する委員がその職務を代理する。

（有識者からの意見聴取）

第5条 審議会は、調査審議の上で必要があるときは、市長の承認を経て有識者を招き、意見を聴くことができる。

2 前項の規定による有識者については、市長が委嘱する。

（部会の会議）

第6条 部会は、必要に応じ部会長がこれを招集する。

（報告）

第7条 部会長は、部会の経過及び結果を審議会に報告しなければならない。

（合同会議）

第8条 部会は、必要があるときは合同で調査及び審議することができる。

（会議録）

第9条 審議会に会議録を備え、次の事項を記載する。

- （1）出席者及び欠席者の氏名
- （2）会議に付された事件名
- （3）会議の概要及び決定された事項
- （4）その他会長が必要と認めた事項

2 会議録には、会長が指名する委員2人が署名するものとする。

附 則 - 11 -

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(上山市振興審議会会議規則の廃止)

2 上山市振興審議会会議規則（昭和40年規則第16号）は、廃止する。

(設置)

第1条 第8次上山市振興計画を策定するにあたり、職員の参加とともに、市内組織を有機的に結び、より高度な情報の集約と整理によって整合性のある計画づくりを行うため、第8次上山市振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 第8次上山市振興計画の策定及び総合調整に関すること。
- (2) その他第8次上山市振興計画の策定に関して必要と認められること。

(組織)

第3条 委員会は、次に定めるところにより構成する。

- (1) 委員長 副市長
- (2) 副委員長 教育長
- (3) 委員 市長事務部局における各課等の長、消防長及び市議会事務局長並びに各行政委員会の事務局長又は課長の職にあるもの

2 委員会の委員は、上山市振興審議会の幹事を兼ねるものとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、委員会を代表し、会務を掌理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、必要に応じ委員長がこれを招集し、会議の議長となる。

2 委員長が必要と認めたときは、会議に関係職員の出席を求め、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(幹事会)

第6条 委員会に、第8次上山市振興計画の原案の作成、専門的調査検討及び諸調整等を行うため、幹事会を置く。

2 幹事会は、次に定めるところにより構成する。

- (1) 幹事長 市政戦略課長
- (2) 幹事 委員の属する課等を代表する職員

3 幹事長は、必要に応じて幹事会の会議を招集し、会議の議長となる。

4 幹事長に事故あるときは、幹事長があらかじめ指定する職員がその職務を代理する。

5 幹事会のもとに、必要に応じたワーキンググループを設置することができる。

- 13 -

(分科会)

第7条 第8次上山市振興計画の素案の策定の検討を行うため、分科会を置く。分科会の組織及び所掌事項については、委員会において定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、市政戦略課において行う。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項については、別に定める。

附 則

この訓令は、令和4年9月1日から施行する。

第8次上山市振興計画策定委員会名簿

委員長 副市長

副委員長 教育長 横戸 隆

役職	職名	氏名
委員	庶務課長	尾形 俊幸
委員	市政戦略課長	富士 英樹
委員	財政課長	鈴木 英夫
委員	税務課長	土屋 光博
委員	市民生活課長	佐藤 毅
委員	健康推進課長	鈴木 直美
委員	福祉課長	鏡 裕一
委員	子ども子育て課長	大澤 泰雄
委員	商工課長	木村 昌光
委員	観光・ブランド推進課長	佐々木 慶
委員	農林夢づくり課長 併農業委員会事務局長	漆山 徹
委員	建設課長	横戸 利平
委員	会計課長	武田 浩
委員	上下水道課長	須貝 信亮
委員	消防長	黒田 彰久
委員	議会事務局長	金沢 直之
委員	監査委員事務局長	鈴木 淳子
委員	管理課長	高橋 秀典
委員	学校教育課長	西田 浩
委員	生涯学習課長	舟越 信弘